

| 題材名・単元名   | 学部  | 授業名（主たる教科領域）   | 授業者 |
|---|---|--|-----|
| 目の健康  | 中   | ところとからだの学習<br>（総合的な学習の時間）  |     |
| <p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 目の大切さや正しい使い方について理解することができる。</li> <li>• 今までの生活の中で行動を振り返り、正しい目の使い方について考えることができる。</li> <li>• 学習したことを日常生活に生かそうとすることができる。</li> </ul>   |   |  |     |
| 学習内容  | 学習活動  | 指導上の留意点・準備物  |     |
| 1. 目の働き<br><br>2. 目の大切さ<br><br>3. テレビを見る時の<br>注意事項、目の病気や<br>疲れた時の対処法につ<br>いて  | 目の働きや目のつくりについて、スライ<br>ドを見ながら学習する。<br><br>目の大切さについて、クイズや実体験を<br>して、目で見えることの大切さを実感す<br>る。（代表の生徒が実施する）<br>・目隠しをして当てよう。<br>・目隠しをして取ろう。<br>・目隠しをして歩こう。<br><br>テレビを見たり、ゲームをしたりする時<br>に気を付けること、目の病気や疲れた時<br>の対処法について学習する。<br>生徒に考えさせ、積極的に発表できるよ<br>うにする。 | 重度の生徒に対しては、目の場所<br>について理解させるようにする。<br>（スライド、顔の絵）<br><br>実際に体験することで、見えるこ<br>とや目の大切さを実感させる。<br>（タオル、マジック、のり、ノー<br>ト、ティッシュの箱、水筒、ポー<br>ル、筆箱など）<br><br>生徒の行動を振り返る機会を設<br>け、今後の生活に生かしていける<br>よう指導する。<br>（2m、30cmのひも） |     |
| <p>&lt;内容（工夫点など）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スライドを見て話を聞くだけでなく、いろいろな体験を通して目の大切さを実感できるような内容を多く取り入れた。</li> </ul> <p>&lt;良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業の中で一人1回は体験ができたので、印象に残る授業になったと考えられる。</li> <li>• より分かりやすく見やすいスライドの工夫が必要だと感じた。</li> </ul> |   |  |     |